

第 1 回構想委員会コメント

(株) ソニー・ミュージックエンタテインメント

村松 俊亮

所用により出席がかなわないため、書面にて意見を申し上げます。

(1) コンテンツ産業の競争力強化・拡大に向けて

- ・ 世界市場を目指すコンテンツは、制作費が数億から数百億円に及ぶ、高リスク・高コストの産業。世界で戦うには莫大な投資が必要で、諸外国は潤沢な政府支援のもとで戦っている。
- ・ 日本においても、コンテンツ関連予算を、少なくともまずは 1,000 億円、ゆくゆくは 2,000 億円規模への早期拡充や、ライバル国に負けない大規模かつ複数年度も含めた予算措置、税制の活用等、強力な支援が必要。

(2) 海賊版対策について

- ・ 海賊版による被害は 2 兆円を超えるとも言われ、特に海外サーバーを經由した違法行為への対応は極めて困難。CODA をはじめとする関係機関を通じた、各国政府との連携強化、国際協力の抜本的強化を求める。
- ・ 正規版の流通拡大に向けて、ローカライズやプラットフォーム支援を強化することも、海賊版対策の根本的な解決策となる。

(3) レコード演奏・伝達権について

- ・ 現在、文化庁著作権分科会政策小委員会で導入に向けた本格的な議論が行われ、利用者団体への説明とヒアリングも進んでおり、先日は国際収支においても黒字になるという調査結果が報告された。
早期に結論を得るべく、引き続き議論を進めていただきたい。

(4) 生成 AI について

- ・ OpenAI 社の動画生成 AI「Sora2」の発表後、著名な創作物や表現への依拠性・類似性が強く疑われる画像・映像が生成され、SNS で公開・送信された。
- ・ 政府としても対応いただいたことは認識しているが、各所から意見表明がされている通り、出版社をはじめとするコンテンツ関係企業・団体等には、今も強い懸念の声がある。
- ・ コンテンツ産業が今後、日本の基幹産業として成長していくためには、「AI 技術の進展を歓迎し、その可能性を正しく活かす」ことをベースとしつつ、著作権法の原則を踏み越えた権利侵害が生じた限りにおいてはこれを容認すべきではない。
- ・ AI 事業者が著作権法の原則に沿った対応を行い、クリエイター・権利者の権利が損なわれず、安心して創作活動に取り組める環境が不可欠。

(5) 司令塔機能の強化

- ・ コンテンツ産業振興を長期的に強力に継続するため、コンテンツに深い知識と見識を持つ行政官のもとで、施策と予算を一元的に担う体制を整えていくことが重要。さらには、コンテンツ産業振興に特化した機関の設置を検討していただきたい。

以 上